自然学習講座

テーマ：クリスマスリースを作ろう！

日　時：令和8年12月5日(土)　午後1時から3時まで(雨天決行)

講　師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料　　定員：20人

受付開始：令和8年11月12日（木）

集　合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受　付：令和8年11月23日(月・祝)までWeb・電話で受付。応募多数の場合抽選。



水元公園で見られる自然素材を使ったクリスマスリース作りです。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 小学3年生以下は保護者同伴。

イベント・ガイドウォーク

カワセミー斉調査

令和8年11月29日（日）説明会 10:00~12:00
令和8年12月6日（日）調査日 9:30 ~13:00

水元公園全域の各所でカワセミを定点観察し、非繁殖期のカワセミの個体数を調査します。市民参加型の調査です。





ガイドウォーク

1回目　11時から30分間
2回目　13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。





水元かわせみの里とは（水元小合溜水質浄化センター）

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和３０年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



- 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)
- 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)
- お問合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201　東京都葛飾区水元公園8番3号
- 交通
  京成バス東京
  バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口→水元公園→金町駅南口 水元かわせみの里下車　徒歩1分	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統) 水元五丁目　または　大場川下車　徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。

葛飾区公式HP　ブログ　Facebook　X（旧Twitter）



水元かわせみの里

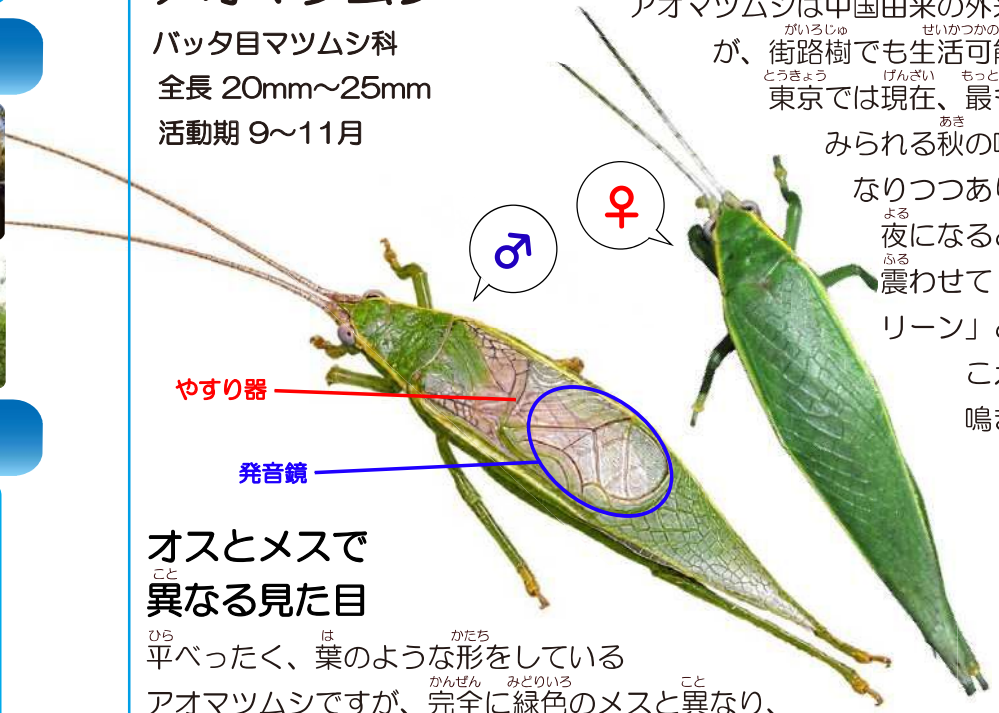
水辺のふれあいルーム通信

令和8年 10月20日
（通算第235号）

水元小合溜の生きもの：226

アオマツムシ

バッタ目マツムシ科
全長 20mm~25mm
活動期 9~11月



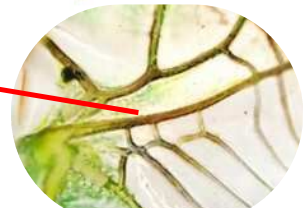
夜に響く「リーン」という音

アオマツムシは中国由来の外来種ですが、街路樹でも生活可能なため東京では現在、最も普通にみられる秋の鳴く虫となりつつあります。

夜になると、翅を震わせて「リーンリーン」という聞こえる声で鳴きます。

オスとメスで異なる見た目

平べったく、葉のような形をしているアオマツムシですが、完全に緑色のメスと異なり、オスは半透明で、かつ複雑な模様の翅を持っています。これは音を出すための器官で、**「やすり器」**と呼ばれる部位をこすり合わせて音を出したり、その音を**「発音鏡」**と呼ばれる部分で大きな音に変換したりと、様々な機能を有しています。



やすり器には微小な突起が多数ある

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、
お散歩隊が見つけて紹介します！



10/1 モズ　この時期は木の一番高い所でギチギチと鳴くことが多い。目元の黒い筋模様がハッキリしているのがオス。



10/1 イチョウウキゴケ　浮草のように見えるが、じつはコケの仲間。水元かわせみの里の水草コンテナで見られる。



10/1 カラスノゴマ　下に垂れた黄色い花が特徴。水元かわせみの里の野草園で見られた。葉の表面に毛が密生する。



10/1 チカラシバ　穂がしっかりと伸びた大型のエノコログサの仲間。力強く根を張るので『力芝』の名が付いた。



10/1 キンエノコロ　穂から生える剛毛が黄色の猫じゃらし。陽の光にあたると黄金色に輝き、美しい。



10/1 クワコ(幼虫)　カイコの原種とされる。クワの木につくが、枝に擬態するため、見つけるのは少々難しい。



10/1 ホシホウジャク　ハナゾノツクバネウツギなどの花の周りで、ホバリングをしながら吸蜜する姿が見られる。



10/1 ツクツクボウシ　夏の終わりごろまで鳴くので、季節の移ろいが感じられるセミ。細長い体型をしている。



10/13 ジョロウグモ　秋にかけて成熟したメスがよく見られるようになる。網は三層構成の立体構造になっている。

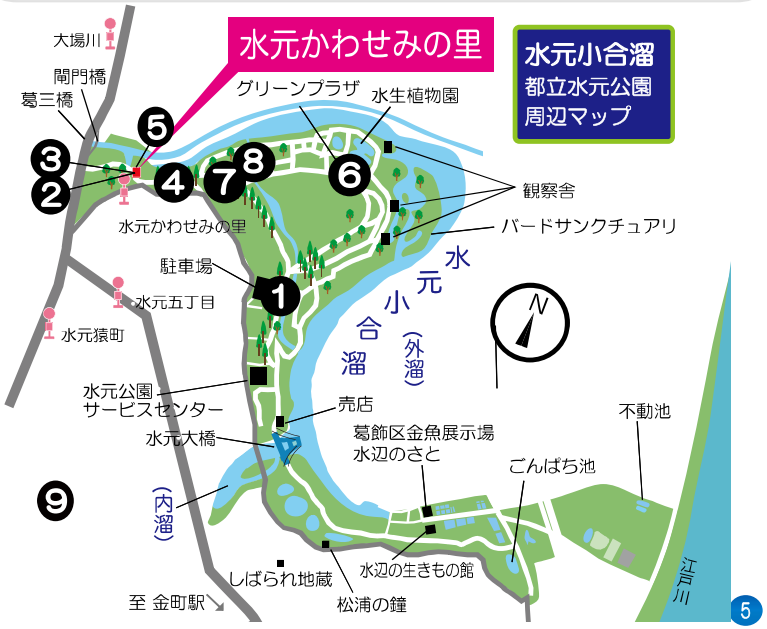
● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム　「複雑で機能的なクモの網」のお話

秋になると、水元公園のいたるところに、大きな網を張ったジョロウグモ（9）が見られるようになります。この網を見てみると、本体がいる、規則正しく糸が配置されたきれいな網の他に、それを前後から挟むように、不規則に糸が張り巡らされた網があり、３層構造となっていることに気づきます。そして、この前後の網を触ってみると軽く押した程度では千切れないほど頑丈で、かつ粘着性がなく、指にくっつかないことがわかります。

この網は、獲物を捕らえるためではなく、天敵となるスズメバチや鳥類などから身を守るための『バリアー網』であるとされます。本体のいる中心の網にはしっかり粘着性があり、この中心の１枚だけが獲物を捕らえるための網です。そして、中心の網でとらえた獲物をジョロウグモが食べた後、その食べかすもまた、このバリアー網に捨てます。そうした食べかすは、天敵から身を守るためのカモフラージュにもなるようです。バリアー網は、ジョロウグモを守るための、とても重要なもののようです。

クモは種類や環境、時間帯などの違いで、それぞれの目的に合わせた機能的な網を張ります。この秋はジョロウグモをはじめ、そんなクモたちの芸術作品も、ぜひ観察してみてくださいね。（小林）



ボランティア活動報告

第12回かわせみフェスティバルを開催しました！

10月4日(日)に水元かわせみの里全体を舞台に、第12回かわせみフェスティバルを開催しました。キッズボランティアやボランティアの他、葛飾地域で活躍する団体や、環境に関わる様々な団体をお呼びしました。イベントには合計894人の方にご来場いただき大盛況でした！


キッズボランティアによる水元の生きもの展示。元気な挨拶で来場者の皆さまをお迎え！


「ベーゴマ回し」では熾烈な戦いが繰り広げられていました。


カワセミや小鳥のエコデコイに自由に着色するクラフトは、大人も子どもも真剣な表情でした。


様々な自然素材をトンボの体に見立てたクラフトをしてもらいました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方個々人が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容　水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境･緑化フェアなどへの参加
■募集期間　随時募集しています
■対　　象　18歳以上の方(原則)
■活 動 日　月4回程度(定例活動日　第１、３土曜日、第２、４木曜日)
■申し込み･お問い合わせ　水元かわせみの里　03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。
総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間


植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ


中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生きものの調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助


虫とりキットを作ろう

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- 生物関係のクラブ活動の補助
- 大学、専門学校の実習の受け入れ
- 福祉系団体への自然解説
- 歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里　03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 10月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。
様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

10月の見頃

サクラタデ

水辺や湿地、水田の畔の植物で、サクラのような薄ピンク色の花をらせん状に咲かせます。他のタデの仲間よりも花が大きく、観察しやすいです。

自家受粉を防ぐために、おしべが雌しべよりも長い花と、雄しべが雌しべより短い花もある「異形花柱性」という性質を持っています。



